

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

広陵町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県北葛城郡広陵町

3 地域再生計画の区域

奈良県北葛城郡広陵町の全域

4 地域再生計画の目標

当町の人口は、令和 2（2020）年現在約 35,000 人であり、平成 27（2015）年から令和 2（2020）年にかけて横ばいの状態を維持している。しかし、国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 42（2060）年には約 23,000 人と、令和 2（2020）年比で総人口が約 65%となる見込みである。

国勢調査に基づき、年齢 3 区分別に人口の推移を見ていくと、生産年齢人口（15～64 歳）は、平成 7（1995）年までは総人口の増加と共に急激に増加し 20,102 人となったが、その後ゆるやかな増加となり、平成 17（1995）年に 22,134 人とピークを迎え、それ以降減少傾向となり、平成 27（2015）年は 20,480 人となっている。年少人口（0～14 歳）は、平成 7（1995）年に 5,934 人とピークを迎え、以降は減少傾向となり、平成 27（2015）年は 5,151 人となっている。老年人口（65 歳以上）は、昭和 55（1980）年以降一貫して増加し続け、平成 27（2015）年は 7,856 人となり、年少人口を上回っている。

出生数については、平成 7（1995）年以降 300 人台で推移していたが、平成 13（2001）年に 300 人を割って以降概ね 200 人台後半で推移しており、令和元（2019）年現在 256 人となっている。死亡数については、平成 7（1995）年以降 200 人前後で推移しており、平成 20（2008）年に 231 人となって以降、横ばいで推移していたが、平成 25（2013）年に 277 人と、出生数を上回り、それ以降自然減の状態が続いている（令和元（2019）年においては 31 人の自然減）。

当町の合計特殊出生率をみると、平成5（1993）年から平成9（1997）年までは1.57と同時期の全国平均1.44を上回っていたが、平成15（2003）年から平成19（2007）年までは1.26まで低下し、同時期の全国平均1.31を下回った。以降、単年度では、全国平均より高くなる年もあったが、依然低い状態が続いている。

当町の社会動態について、平成7（1995）年以降概ね転入数が転出数を上回る社会増が続いていたが、平成14（2002）年には46人、平成22（2010）年には104人の社会減になっている。令和元（2019）年では173人の社会増となっているものの、近年では転入数と転出数が近づきつつある。

人口減少が進行するにつれ、当町の基幹産業である製造業が衰退し、それに伴い雇用の機会が減少し、若者が町外に流出（社会減）することが考えられる。また、ニュータウンの高齢化やコミュニティの衰退といった課題が考えられる。

これらの課題に対応するため、本計画においては次の4つの基本計画を掲げ、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援、子育てと仕事の両立支援や教育ブランド力の向上等に取り組む。また、当町における出生数の増加を目指すことで、長期的に生産年齢人口の減少と将来的な年少人口の減少に歯止めをかける。

- ・基本目標1 住み続けたいくなるまちづくり
- ・基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり
- ・基本目標3 活力あふれるまちづくり
- ・基本目標4 地域と地域を連携するまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	これからも「住み続けたい」 と思うひとの割合	74.7%	77%	基本目標1
イ	出生数の増加	268人	280人	基本目標2
	合計特殊出生率	1.34	1.50	
ウ	付加価値額	247億円	270億円	基本目標3

	町内事業所従業者数	8,725人	9,000人	
エ	広陵町に愛着を感じている ひとの割合	73.5%	76%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

広陵町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 住み続けたくなるまちづくり事業

イ 結婚、出産、子育ての希望をかなえるまちづくり事業

ウ 活力あふれるまちづくり事業

エ 地域と地域を連携するまちづくり事業

② 事業の内容

ア 住み続けたくなるまちづくり事業

当町の強みである住みよしみどり豊かな美しい住環境を活かし、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるため、町一体となって“みどりの環境”の保全に取り組むとともに、防災・防犯体制を整備して安全・安心な支え合いのまちづくりを進める。

また、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを進め、広陵町に「住んでみたい」「住み続けたい」と望む人を一層増やしていく。

【具体的な事業】

- ・ 不法投棄防止・犯罪抑止のための監視カメラ導入
- ・ 公園・緑地の保全などみどりの環境の維持管理
- ・ 移住・定住を検討する人へのタウンプロモーション 等

イ 結婚、出産、子育ての希望をかなえるまちづくり事業

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援、子育てと仕事の両立支援や教育ブランド力の向上等に取り組み、広陵町における出生数の増加を目指すことで、長期的に生産年齢人口の減少と将来的な年少人口の減少を克服する。

【具体的な事業】

- ・ 出産後、子育て期の育児不安を解消するためのサポート体制の構築
- ・ 地域巡回型の健康教室や検（健）診の実施
- ・ ICT教育備品の整備によるオンライン授業等の実施 等

ウ 活力あふれるまちづくり事業

まち・ひと・しごとの創生にあたっては、まず、「しごと」と「ひと」の好循環を確立することが重要である。潜在的な労働力の掘り起こしや働く希望と雇用の場をつなげ、広陵町の特色ある地域資源を活用して地域経済の好循環を生み出し、地域の活性化を図る。

【具体的な事業】

- ・ 地域資源を活かした産業の創造、企業誘致の推進、地域ブランドの創出
- ・ 中小企業の底上げを図るBizモデルのビジネスサポートセンターの構築 等

エ 地域と地域を連携するまちづくり事業

本町は、都心で失われつつある地域コミュニティの支え合いの精神が息づいており、まちの強みである、コミュニティを基本とする協働のまちづくりを進める。

また、時代の変化に対応した効率的で効果的なまちの機能強化を目指しつつ、周辺自治体と連携した、広域連携のまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・ 小学校区を一単位としたまちづくり協議会設立の支援
- ・ 町の政策形成への参画・協働の促進 等

※なお、詳細は広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

700,000 千円（2020 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 8 月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後、速やかに広陵町ホームページ上に公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで